

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：現代社会学部 名前：濱田 大佐 作成日：2025年2月3日

1. 教育の責任

学生自身の主体的な研究活動を基盤とし、問題解決に必要な論理的思考を養う。

また、研究発表やレポート・論文執筆を通じて他者に伝える力を養う。

2. 教育の理念

心理学の専門家として自己及び他者の行動について解釈・理解を促すことで、人生のウェルビーイングを実現するための生涯にわたる学びを提供すること

3. 教育の方法

ゼミナール・卒業研究 それぞれの学生が関心のあるテーマに取り組み、研究活動のプロセスを経験することで論理的思考を養う。研究活動とは具体的に、文献調査、実験・調査計画、実験・調査の実施、データ分析、結果の考察、成果のアウトプットという一連の流れを指す。また、論文調査や研究計画についてのプレゼンテーションを行うことで他者に伝える力を養う。発表を聞く側はただ聞くだけでなく、研究活動において的確な質問を考え抜いて質問する。

4. 教育の成果

授業アンケートの内部評価は概ね平均以上の評価を得ている。また、「改善すべき点」についてのコメントを糧とし、教授法や授業内容を学期ごとに見直し・改善するようにしている。

5. 改善への努力と今後の目標

心理学の実験実習が心理学における卒業研究の要となる。しかしながら現在の実験実習はテーマ数が多いことから、一つ一つのレポートにかかる時間が少なくクオリティが低くなる傾向があると考えられる。そこで、実験実習のテーマ数を絞って、レポートの改善点をフィードバックすることで学生がより質の高いレポートを書くことができる余地を作る必要があると考えている。

【添付資料】

学生アンケート